

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	11人	2人	人	13人
前回の改善計画		- 引き続き、利用者の状態や変化について家族との情報交換を密に行う。 - 在宅での生活が長く続けられるように、本人や家族が必要としている支援を行う。				
前回の改善計画に対する取組み結果		利用者の心身の状態の細かな気付きを家族に伝え、その都度状態に合わせた支援内容を話し合い対応している。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	9	2		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		11	1		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1	8	3		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	9	1		13
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること - ミーティングや昼礼を通し利用前の情報や家族からの情報、思いを共有できている。 - 利用開始時、職員との関係性を築くために、まず訪問サービスから開始する等本人や家族の思いを大切にしている。 - まだ不慣れな時期は特に、不安を軽減できるように他利用者との関わりにも配慮している。				
できていない点		200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 全員参加のミーティングが行えておらず、情報共有にばらつきが見られることがあった。				
次回までの具体的な改善計画		(200字以内) 職員の勤務形態が異なり、全員参加のミーティングの実施は難しい為、参加できない職員にも書面と口頭説明を行い情報共有を行っていく。				

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	7人	2人	13人

前回の改善計画	・コロナ禍での状況を考慮しつつ、その中で何ができるか、アイデアを提案し合って実現に近づける。 ・担当の役割を明確にして、担当職員が主となって実現に繋がるよう計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・身近な外出行事は、その都度提案し実行できた。 ・各利用者の担当職員の役割の認識が不十分で、担当職員を中心にした「～したい」の実現に向けての計画ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		8	5		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		5	8		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		2	9	2	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		8	3	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・コロナ禍を配慮し、外出は少人数で数回に分けて行なった。 ・少人数で行なった内容を共有し、他利用者にも反映する事ができた。 ・利用者の声にならない思いを会話の中から読み取れるように関わりを大切にしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・各利用者の担当職員が中心となって「～したい」の実現に向けての計画ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・ケアの内容の変更が必要になった場合などには、ケアマネジャーやリーダーがまず担当職員にも意見を聞き、担当である事の意識付けを一緒に考えていく。利用者について深く理解したうえで「～したい」の実現に繋げていく。 ・聞き出した「～したい」を職員間で共有しやすいように、付箋に書き貼り出し担当職員を中心に実現に向けて検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
3. 日常生活の支援	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	11人	2人	人	13人

前回の改善計画	・できる部分を奪わないケアのために、利用者本人の残存能力を見極め、具体的にケース検討を行い実践に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・介助について残存能力を把握したうえでのケアではなく、手順として介助のやり方を覚えてしまっている為、本人の状態に応じてのできる能力を活かされていない事があった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2	10	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		13			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		5	8		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	11	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		9	4		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人のペースに合わせた基礎的な介護は行えている。 ・日々の心身の変化の気付きは情報共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」の把握が不十分 ・本人のできる部分を把握した上でのケアにバラつきがある（過剰介護になってしまうことがあった。）	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・何故そうしたケアを行うのか根拠を明確にして共有し、統一したケアに繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	人	2人	13人

前回の改善計画	・送迎・訪問時に利用者それぞれの地域の方と挨拶をし、少しでも繋がりを持つことができるよう働きかける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の方との繋がりが持てるように挨拶はできているが、地域の情報を聞き取るなどの関りは持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		7	6		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		7	5	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		4	8	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2	8	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・聞き出した本人の思いを家族に伝えている。また、家族の思いや悩みを聞き取りその都度サービス内容の変更など行なっている。 ・普段と変わった様子が見受けられた際には、その都度家族に伝えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域によっては民生委員との繋がりが持てていない場合がある ・自宅での過ごし方を把握できておらず、これまでの地域との関わりも分からない利用者がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者、家族からこれまでの生活スタイルや地域との関わりについて聞き取りを行い支援に繋げていく。 ・地域の資源とは何かを具体的に例をあげ、どのように支援に活かしていくかを話し合っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	2人	人	13人
前回の改善計画		・継続して利用者の変化や職員の気付きを発信・共有し、柔軟な対応を行うことで地域での生活を支援していく。				
前回の改善計画に対する取組み結果		・利用者の状態の変化や家族のニーズに合わせてサービスの調整を行ない、在宅生活が継続できるような支援に努めた。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		3	10		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	10			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	10			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	9			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の状態の変化や家族のニーズに合わせてサービスの調整を行ない、在宅生活が継続していけるような支援に努めた。 ・日々の気付きを職員間で共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源を有効活用できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・「地域の資源」とは何かを職員が理解できるように具体的な例を挙げ、本人の生活に必要なものを取り入れて在宅生活を支えていく。 ・「小規模多機能」とはどのようなサービスなのか、また、本人を支えるためにできることについて勉強会を開催し再確認していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
6. 連携・協働	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	5人	5人	3人	13人
前回の改善計画		・コロナ禍での地域の行事を確認し、開催されるものについては参加し、地域との交流を深めていく。				
前回の改善計画に対する取組み結果		・地域の行事が開催されたものもあったが、日時や対象利用者、職員体制などの調整がつかず参加できなかった。 ・少人数で地域のコミュニティセンターのカフェスペースに出掛け、利用者も大変喜ばれた。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		8		5	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		7	2	4	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		3	7	3	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	6	6	13
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・必要に応じてその都度話し合いはできている。（退院カンファレンス、地域ケア会議など） ・サロンに出向き、地域の方々に向け介護予防体操などを行なった。				
できていない点		200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・事業所での地域参加型の活動を自粛していることもあり、地域住民が訪れる機会はほとんどなかった。				
次回までの具体的な改善計画		（200字以内） ・地域で開催される行事に関して担当者を決め、参加出来るように具体的に計画を進めていく。				

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
7. 運営	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	8人	1人	人	13人
前回の改善計画		・現場での細かな気付きを業務改善につなげて、信頼される事業所作りを目指す。 ・月に1回を目標に積極的に「アイデア提案」に取り組む。				
前回の改善計画に対する取り組み結果		・日々業務の改善や利用者のケアについての見直しを行うことはできているが、アイデア提案制度に結びつかず提出できなかった。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	1	5	5	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	3		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	6	6		13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	4	4	4	13
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・送迎時などに頂いた家族からの意見を職員間で共有し、必要に応じて話し合い、改善できている。				
できていない点		200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・アイデア提案への参加が不十分だった。				
次回までの具体的な改善計画		（200字以内） ・現場で行われた好事例や気付きの声が「アイデア提案」の参画だということを職員が意識し書く習慣をつける。 ・月1回の小規模ミーティングで全員がアイデア提案を提出できるように事前に用紙を配布し提出する。				

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	5人	人	13人
前回の改善計画		- 職員全員がスキルアップして共に成長できる環境作りを行い、質の向上を目指す。 - 事故ヒヤリの再発防止策が有効に活かされているかを、昼礼・ミーティングで振り返り未然防止に繋げる。				
前回の改善計画に対する取組み結果		- 他拠点のきらめきで開催される「10の基本ケア講座」に2名の職員が受講し、利用者の残存能力を活かしたケアについて学んだ。今後も未受講の職員に伝達、また受講を計画していく。 - 事故ヒヤリの共有を行い再発防止策を検討したが同じようなヒヤリが発生してしまった。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	9	2		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		7	3	3	13
③	地域連絡会に参加していますか		2	5	6	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		9	2	2	13
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること - ZOOM開催でのケアマネスキルアップ研修や感染症対策研修など参加できる研修には参加できた。 - 事故未然防止対策の学びとして現場でのリスクについての勉強会を開催した。				
できていない点		200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事故ヒヤリの共有を行い再発防止策を検討したが同じようなヒヤリが発生してしまった。				
次回までの具体的な改善計画		（200字以内） 発生した事故ヒヤリの再発防止策が有効に活かされているか、定期的に振り返り見直しを行っていく。				

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月25日（13：00～14：00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	長谷川・板倉・松原・平井・篠崎・朝日 甚佐・下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	7人	4人	人	13人

前回の改善計画	・月1回事業所内で行われる身体拘束委員会に全員が順番に参加する。その内容を職員間で共有し、適切なケアに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束委員会に順番に参加することはできたが、他職員への発信が一方的になり共有できていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人 数）
①	身体拘束をしていない	4	9			13
②	虐待は行われていない	6	8			13
③	プライバシーが守られている	4	9			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	1	9	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	11			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体的な虐待は行われていない。 ・利用者への言葉遣いについて勉強会を行い、自己の対応について振り返りを行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・毎月の身体拘束委員会は参加できていても、その内容については発信・共有できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・委員会に参加した職員が資料を回覧し、情報共有できたかを確認していく。 ・ミーティングで不適切なケア（グレーゾーン）について学び、現場での改善すべき点を話し合い適切なケアに繋げていく。	